

# リサイクル計画書(詳細設計)

## 1.事業(工事)概要

発注機関名	海部郡美波町役場
委託名	令和4年度一ノ坂橋修繕設計業務
履行場所	美波町北河内字久望
設計概要等	橋梁補修設計
工事着手予定時期	

## 2.建設資材利用計画

建設資材	①利用量	②現場内利用 可能量	③再生材利用 可能量	④新材利用 可能量	⑤再生資源利用率 (②+③)/①×100	備考
土 砂	--- 地山 <sup>3</sup>	--- 地山 <sup>3</sup>	--- 地山 <sup>3</sup>	--- 地山 <sup>3</sup>	--- %	γ=2.0t/m <sup>3</sup>
砕 石	--- トン	--- トン	--- トン	--- トン	--- %	
アスファルト混合物	--- トン	--- トン	--- トン	--- トン	--- %	
	トン	トン	トン	トン	%	

※最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

## 3.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	⑥発生量	⑦現場内利用 可能量	⑧他工事への 搬出可能量	⑨再資源化施設 への搬出可能量	⑩最終処分量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥×100)	備考
建設発生土 第1種 建設発生土	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>		0.0 地山 <sup>3</sup>	0 %	
建設発生土 第2種 建設発生土	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>		0.0 地山 <sup>3</sup>	0 %	
建設発生土 第3種 建設発生土	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>		0.0 地山 <sup>3</sup>	0 %	
建設発生土 第4種 建設発生土	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>		0.0 地山 <sup>3</sup>	0 %	
建設発生土 泥土(浚渫土)	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>		0.0 地山 <sup>3</sup>	0 %	
建設発生土 合 計	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>	0.0 地山 <sup>3</sup>		0.0 地山 <sup>3</sup>	0 %	
コンクリート塊	0.2 トン	0.0 トン	0.0 トン	0.2 トン		0 %	γ=2.35t/m <sup>3</sup> (無筋)2.50t/m <sup>3</sup> (鉄筋)
アスファルト・コンクリート塊	0.2 トン	0.0 トン	0.0 トン	0.2 トン		0 %	γ=2.3t/m <sup>3</sup>
建設発生木材	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		0 %	
建設汚泥	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		0 %	

※建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする。)

①第1種建設発生土 --- 砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土 --- 砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土 --- 通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土 --- 粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く)

⑤泥土(浚渫土) ----- 浚渫土のうち概ねqc2以下のもの。

※建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。

※利用・搬出可能量は、現時点で算出可能なものを記載する。

※建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。



